

令和5年度事業報告

I 総括

1 概況

新型コロナウイルス感染症は2類から5類へ移行し落ち着きを見せてきたところではありましたが、令和6年2月にメゾン木馬館で集団感染が発生し、生活介護センターあんを9日間に亘り臨時休業とした。また、12月と1月には吹雪による交通障害で通所各事業所を延べ5日間に亘り臨時休業としたこともあり、事業収益には少なからず影響が出ています。

新型コロナウイルスの集団感染については全員軽症で済み大きな混乱は有りませんでした。また、事業全般において大きな事故等も無く、本年度に予定した各事業等は概ね当初の計画に沿って進めることが出来たところです。

(1) 法人運営体制

6月に理事、監事の任期満了に伴う改選があり、理事に1名の欠員が生じていましたが、令和6年3月に伊藤洋悦氏が新たに理事に選任され欠員は解消されております。

評議員については令和6年2月末に1名が辞任し、年度末現在1名欠員となっています。

また、3月14日の理事会において理事長及び副理事長の交替があり、新理事長に石原幸一氏(前副理事長)、副理事長に白田陽彦氏(前理事長)が選任されました。

法人運営に係る役員会等については、評議員会議2回、理事会議9回を開催しています。

監事監査は決算監査1回、定期監査4回を実施しています。

(2) 収支状況

令和5年度の法人収支は資金収支及び事業活動収支ともにプラスとなりましたが、収支差引額は臨時休業等もあり前年度に比べ減少しました。

資金収支計算書における当期収支差額は831,296円のプラスとなっていますが、これは22,000,000円を施設整備費等積立金へ計上後の額であり、実質的な当期の収支差額は22,831,296円のプラスとなります。

事業活動収支計算書における当期の活動増減差額は2,776,744円のプラスで、前年度に比べ7,668,605円減少しました。

なお、施設整備費等積立金については、本年度取崩額10,000,000円、積立額22,000,000円で、年度末残高は58,660,000円となっています。

(3) 寄附の状況

次の皆様方から現金3件、物品6件の寄附が有りました。

① 高井 瑛子 様	(現金)	10,000 円
② 渡辺 貢 様	(現金)	30,000 円
③ 稚内ひかり幼稚園きらきら保育園 様	(現金)	15,000 円
④ 炭田 廣子 様	液体洗剤セット14・タオル35枚	
⑤ (有)斎藤海事 様	トイレットペーパー 280個 ティッシュペーパー 120個	
⑥ 坂根 なつこ 様	野菜(人参・じゃがいも)	20 kg
⑦ ユアーズ調剤薬局 橋本健司 様	敬老の祝い果物	28 点
⑧ 宗谷漁業協同組合 様	貝付ホタテ	200 kg
⑨ 北海道コココーラボトリング 様	清涼飲料水	8 ㇿ

2 重点取組み事項

令和5年度の重点取組み事項等の状況は次のとおりです。

(1) 質の高いサービスの提供

①人材の確保、育成に向けた取組み

人材の確保は非常に厳しい状況が続いており、当法人のみならず社会全体の傾向と捉えているが、必要な人材の確保と育成・定着に向けて取り組んで来ました。

1) 賃金水準の向上

処遇改善加算制度(3制度)をフルに活用し、職員給与の昇給、パート職員の時給単価引上げ、新たな加算制度を活用した処遇手当の新設、などの賃金引上げを行いました。

2) 福利厚生の実施

職員健康診断、インフルワクチン無料接種、被服の無償貸与、職員互助会への助成、永年勤続者への表彰と記念品贈呈、等の他、各事業所事務室にエアコンを設置し職員の労働環境改善に努めました。

3) 研修の実施と資格取得の奨励

ア. 職員研修

・外部研修会	14回	延べ	21名
・内部研修会	7回	延べ	144名

イ. 資格取得奨励

・サービス管理責任者研修			2名
・介護福祉士資格取得費用助成金	4名		128,000円

(2) 利用環境の整備

① 建物・設備の整備

施設整備計画3年次目であり、計画では3ヶ年での整備を目標としていたが、物価の高騰や計画外の設備更新などもあり計画期間内での整備完了には至っていません。しかし、優先度が高いとされていた整備は概ね完了しており、次年度以降も必要な整備をおこなっていくための財源も確保しています。

【令和5年度の整備状況】

はまなす地区建物の照明器具 LED 化工事、グループホームひだまり暖房機器更新工事、グループホームひだまり利用者居室冷房設備設置工事、など総額 11,566,602 円の整備を行いました。

なお、これら整備に要する財源として施設整備費等積立金から 10,000,000 円を取り崩しました。

(整備内訳については 11 ページ参照)

② 安全の確保

- ・防火設備点検整備 全事業所 2 回実施
- ・避難訓練 全事業所 2 回実施

(3) 経営基盤の充実強化

① 財源の確保

本年度の事業活動収益は前年度並みを確保しており、当期末資金残高は 92,543,014 円、施設整備資金積立額残高は 58,600,000 円となっており適正運営に必要な財源は確保されています。

② 業務管理体制の充実

法令遵守責任者（常務理事）の下、全事業所について 8 月に事業進捗状況調査、10 月に自主点検表による点検を実施し各事業運営の適正化に努めました。

③ ICT化の推進

本年度から、介護等業務の支援システムの導入を開始し業務の効率化を進めています。

本年度は、グループホームひだまり、生活介護センターあん、メゾン木馬館での運用を開始しました。

④ 業務継続計画の策定

制度に基づく業務継続計画を次のとおり策定しました。

- ・自然災害発生時における業務継続計画…全事業所策定
- ・感染症発生時における業務継続計画……全事業所策定

⑤ 法人内委員会の取組み強化

各委員会の活動状況は次のとおりです。

- ・給食委員会〔4 回開催〕

- ・虐待防止委員会〔3回開催〕
- ・感染症対策委員会〔3回開催〕
- ・事故防止委員会〔2回開催〕
- ・非常災害対策委員会〔2回開催〕

3 実施事業

令和5年度は、介護2事業所・障害福祉4事業所を通年で運営しています。また、各事業の定員に変更は有りませんでした。

〔介護保険事業〕

- ①デイサービスセンターひだまり（利用定員10人）
 - ・指定地域密着型通所介護事業
 - ・第1号通所事業
- ②グループホームひだまり（利用定員18人）
 - ・指定認知症対応型共同生活介護事業
 - ・指定介護予防認知症対応型共同生活介護事業

〔障害福祉事業〕

- ① 稚内第一木馬館（利用定員20人）
 - ・指定就労継続支援B型事業
- ②手作り工房どーなつ（利用定員40人）
 - ・指定生活介護事業及び基準該当放課後等児童デイサービス事業
 - ・指定就労継続支援B型事業
- ③生活介護センターあん（利用定員20人）
 - ・指定生活介護事業
- ④メゾン木馬館（利用定員34人）
 - ・指定共同生活援助事業
- ⑤相談支援センター木馬館（事業休止）
 - 事業休止を継続

（各事業の実績詳細は、別紙「令和5年度各事業等の状況」のとおり）